

学 ぶ 楽 し さ 無 限 大 !

自由大学通信

Vol.11 平成18年7月10日発行

発行 武蔵野地域自由大学事務局 武蔵野市吉祥寺本町2-5-10 TK 吉祥寺ビル8F
Tel : 0422-20-6340 Fax : 0422-20-6341 <http://www.jiyu-musashino.org/>

後期寄付講座 受付を開始します!

申込受付期間7/15~8/4 (電話受付開始 7/18~)

①武蔵野大学「トラウマ・ケア論」

9月25日~12月25日 (全12回)

毎週月曜日 午後2時40分~午後4時10分

※10月9日(月)・10月30日(月)を除く



②亜細亜大学「コミュニティとNPO・市民活動」

9月26日~12月12日 (全12回)

毎週火曜日 午後12時50分~午後2時20分



③成蹊大学「現代を生きる(公助・共助・自助のちから)」

9月27日~平成19年1月10日 (全14回)

毎週水曜日 午後4時30分~午後6時00分

※12月27日(水)・1月3日(水)を除く



④中近東文化センター

「馬駆ける世界-中近東の人・自然・生活」

9月2日~平成19年1月27日 (全11回)

土曜日 午後1時30分~3時00分



4講座共通 申込方法・必要書類

- 対象：18歳以上で市内在住・在勤・在学の方及び武蔵野地域自由大学生で全回出席できる方
- 費用：5,000円（資料代）
- 定員：各講座50名（中近東文化センターは100名、越えた場合抽選）
- 受講決定後に必要なもの：

顔写真、同意書（受講内定後、こちらから送付致します）

健康診断書（3ヶ月以内に受診した胸部レントゲン撮影結果と医師の総合所見のあるもの。

または1年以内に健診でレントゲン検査を受診していればそのコピーでも可）

申込の流れ

* 武蔵野地域自由大学生の方は、電話およびホームページでお申し込みできます。

電話 0422-20-6340
（平日午前10時から午後5時）

☎電話受付

7/18（火）～8/4（金）

HP アドレス <http://www.jiyu-musashino.org/>
（科目一覧→受講申込）

ホームページ受付

7/15（土）～8/4（金）

8/4（金）まで

受講者決定・結果通知

8/11頃

結果は全員に郵送で通知します。

その際、受講決定者には下記の必要な提出物についてお知らせします。

受講のための必要書類を
自由大学事務局へ提出してください

9/4まで

【受講が決定した方の提出物】

- 顔写真1枚
- 健康診断書（3ヶ月以内に受診した胸部レントゲン撮影結果と医師の総合所見のあるもの。
または1年以内に健診でレントゲン検査を受診していればそのコピーでも可）

自由大学事務局に17年9月1日以降に診断したものを提出している方は、今回の寄付講座受講のための提出は不要です。

- 同意書

* 中近東文化センターには上記は不要
資料代のみ

健康診断書の提出について

大学正規科目履修受付（2月）や、寄付講座受講（3月、9月頃）の際に健康診断書を提出いただいています。これは、学生と同じ教室で受講するにあたって結核の有無と健康状態を確認するためです。ご理解をお願いいたします。なお、健康診断書は、受講受付時から1年以内に受診した各市・区の健診や会社等の健康診断結果の写し（胸部レントゲン結果と総合所見があるもの）をもって代えることができます。

寄付講座や来年度の正規科目を履修するご予定の方は、年に1度の健康診断（武蔵野市の基本健診の場合は対象が満40才以上の市民で、職場などで健診を受診できない方。受診は誕生日とその翌月の2か月間です。）を受診しておくことをおすすめいたします。

9/11頃

開講通知

開講初日

※資料代5,000円納入

開講初日に欠席された場合は、2回目に会場で資料代5,000円を納入してください。その後は直接、生涯学習スポーツ課へご持参ください。（市役所5階）

テーマ：「トラウマ・ケア論」

コーディネーター：小西聖子（武蔵野大学人間関係学部 教授）

期間：平成18年9月25日～12月25日（全12回）

曜日・時間：月曜日・午後2時40分～4時10分

内容：

トラウマ反応の理解と、家族・コミュニティにできるケアやサポート

自由大学履修対象講座
9回以上出席で1講座

トラウマを負った人の回復のために、家族やコミュニティはどのようなケアやサポートができるのか。「他者をケアすること」の意味を理解し、トラウマ、発達、コミュニケーションなどに関する概念を理解した上で、現実の犯罪被害や、事故の被害、子どもの学校での被害、児童虐待やドメスティックバイオレンスなどの家庭の中の暴力被害などについて、様々な側面から考える。適切なケアやサポートについて、実践的に知る。医療機関や相談機関など専門機関への問い合わせの際のポイントやタイミング、司法や警察とのかかわり方についても考える。

回	月日	テーマ	講師
1	9月25日(月)	発達とトラウマ： 子どもの性被害と安全	野坂祐子（大阪教育大学 学校危機メンタルサポートセンター・専任教員）
2	10月2日(月)	回復とは何か	大山みち子 （武蔵野大学助教授）
3	10月16日(月)	つらい話を聴く： 傾聴と共感について	木村弓子 （武蔵野大学心理臨床センター・相談員）
4	10月23日(月)	精神鑑定とトラウマの問題	辻 恵介 （武蔵野大学助教授）
5	11月6日(月)	ドメスティック・バイオレンス被害者の ケアとサポート	倉橋路子 （池田病院・臨床心理士）
6	11月13日(月)	児童虐待と母子支援	春原由紀 （武蔵野大学教授）
7	11月20日(月)	子どものトラウマのケア	藤森和美 （武蔵野大学教授）
8	11月27日(月)	ハラスメントとは？	道家木綿子 （東京大学ハラスメント相談所・相談員）
9	12月4日(月)	援助者自身のケア	大澤智子 （兵庫県こころのケアセンター・主任研究員）
10	12月11日(月)	コミュニケーションと災害、 事件	小西啓史 （武蔵野大学教授）
11	12月18日(月)	グリーフ・ケア：遺族の問題	白井明美（国立精神・神経センター精神保健 研究所成人精神保健部・流動研究員）
12	12月25日(月)	犯罪被害者のケアへの取り 組み	小西聖子 （武蔵野大学教授）

テーマ：「コミュニティとNPO・市民活動」
 コーディネーター：栗田充治（亜細亜大学国際関係学部 教授）
 期間：平成18年9月26日～12月12日（全12回）
 曜日・時間：火曜日・午後12時50分～2時20分
 内容：

自由大学履修対象講座
 9回以上出席で1講座

武蔵野市寄付講座の趣旨を生かし、地域におけるさまざまな課題を、市民聴講生と学生がともに参加する中で、多角的、多面的に考察することを目的とする。特に、グローバルな視点とローカルな現実感覚を合わせた地域の今日的課題の検討を試みる。

武蔵野市に拠点を置いて活動するNPO・市民活動団体は、市の市民活動センターに登録している団体だけでも、現在66団体ある。活動分野も福祉（高齢者、障害者、難病者）、環境・美化、国際交流・支援、文化・芸術、教育・子育て、IT・情報、まちづくり、男女共同参画、防災・防犯、就労支援、NPO・起業支援など多岐にわたっている。

本授業ではそれらの団体から10団体程度を選んで講師を依頼し、各々の活動の理念、歴史と現状、団体の諸課題、コミュニティにおける課題などを講義してもらい、地域における諸課題を理解し、NPO・市民活動の今日的な意義をつかむとともに、NPO・市民活動がコミュニティの健全な発展にどのように貢献出来るかを、検討する。

授業は、講義、ワークショップ、調査活動を織り交ぜながら進める。

市民聴講生有志にも、修了式を行う最終回あたりに、学習成果の発表機会を提供する予定である。授業の進み具合によって、ミニ・シンポジウムのような形式で行う可能性もある。

回	月日	テーマ	講師
1	9月26日(火)	(オリエンテーション)	栗田充治 (亜細亜大学教授)
2	10月3日(火)	NPO・市民活動の現状と課題	山岸秀雄 (NPOサポートセンター)
3	10月10日(火)	まちづくり活動とコミュニティ (仮)	篠原二三夫 他 (市民まちづくり会議むさしの)
4	10月17日(火)	吉祥寺まち案内所吉祥寺コンシェルジュ	野々山桂 (まちづくり観光機構)
5	10月24日(火)	防犯活動とコミュニティ	小田哲二 他 (日本ガーディアン・エンジェルズ)
6	10月31日(火)	NPO法人として四年 - “なぜ” と “これから”	高橋博良 他 (武蔵野多摩環境カウンセラー協議会)
7	11月7日(火)	文化・芸術活動とコミュニティ	藤間仁章 (伝統芸能むさしの我夢之会)
8	11月14日(火)	ノーマライゼーションとコミュニティ	古野晋一郎 他 (サポートネット武蔵野)
9	11月21日(火)	けやきコミュニティ協議会 の成り立ちから新しい展開	寺島芙美子 他 (けやきコミュニティ協議会)
10	11月28日(火)	女性のエンパワーメントの拠点として	未定 (むさしのヒューマン・ネットワークセンター)
11	12月5日(火)	NPOの国際支援活動	安藤伸良 他 (プロジェクトHOPE ジャパン)
12	12月12日(火)	(学習成果発表と市民聴講生修了式)	栗田充治 (亜細亜大学教授)
13	12月19日(火)	(学生対象のまとめワークショップ) ※学生のみ。市民受講生の参加は自由です。	栗田充治 (亜細亜大学教授)

テ ー マ：「現代を生きる（公助・共助・自助のちから）」

コーディネーター：大久保洋子（成蹊大学文学部 教授）

期 間：平成 18 年 9 月 27 日～平成 19 年 1 月 10 日（全 14 回）

曜日・時間：水曜日・午後 4 時 30 分～6 時 00 分

内 容：

国民・市民・地域住民つまりすべての人々が、人間として健全な社会生活を営んでいくためには、社会として保障し支援する国や自治体を主体とする公助、個人・グループ・組織が相互に思いやり協力することによって可能となる共助の領域、そして個人が社会を見据えて努力をしていく自助のちからが必要である。それらが自然な形で連携し、共同体の住民意識や存在価値を醸成していく。ある地域に住むひとびと、そこに存在するさまざまな商店や企業、学校・大学・組織などが相互に関わりあってちからを提供し、そしてバランスよく共に繁栄していくことが望まれるのではないだろうか。

この授業では、武蔵野市を例としてとりあげ、コミュニティ、環境、情報、福祉や生涯学習、文化など、それぞれの担当者の観点から三領域のちからにふれ、どのようにバランスをとりながら地域の活性化を担ってきたかについて述べる。また、国際的視点で公助・共助・自助のちからを考察するために、世界のひとびとを支援する国際協力、三つのちからの結晶であるスウェーデンの福祉の理念を加えて講義する。

自由大学履修対象講座
9 回以上出席で 1 講座

回	月日	テーマ	講師
1	9 月 27 日(水)	授業全体の概要オリエンテーション	高田昭彦 (成蹊大学文学部教授)
2	10 月 4 日(水)	武蔵野市におけるコミュニティづくり	高田昭彦
3	10 月 11 日(水)		(成蹊大学文学部教授)
4	10 月 18 日(水)	環境の「再生」と「共創」	飯塚邦彦
5	10 月 25 日(水)		(成蹊大学非常勤講師)
6	11 月 1 日(水)	地域を活性化する情報化とは何か	奥野昌弘
7	11 月 8 日(水)		(成蹊大学文学部教授)
8	11 月 15 日(水)	共に生きる福祉と生涯学習	大久保洋子
9	11 月 22 日(水)		(成蹊大学文学部教授)
10	11 月 29 日(水)	文化を伝え地域に活かす	中江桂子
11	12 月 6 日(水)		(成蹊大学文学部助教授)
12	12 月 13 日(水)	国際協力のさまざまな形	墓田 桂
13	12 月 20 日(水)		(成蹊大学文学部講師)
14	1 月 10 日(水)	スウェーデンの福祉の理念	大久保洋子 (成蹊大学文学部教授)

中近東文化センター

自由大学履修対象講座
9回以上出席で1講座

テーマ：「馬駆ける世界-中近東の人・自然・生活-」
 期間：平成18年9月2日～平成19年1月27日(全11回)
 曜日・時間：土曜日・午後1時30分～3時00分
 内容：

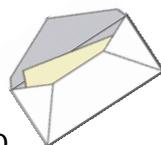
人にとって馬との出会いは画期的なものでした。家畜化された馬は人の行動範囲を大きく広げ、また戦争の方法にも大きな影響を与えました。ファラオもアレクサンドロス大王も馬なしにはその事業を成し遂げられませんでした。

本講座では、古代中近東における自然や生活などを通して馬と人とのかかわりを学んでいきます。

回	月日	テーマ	講師
1	9月2日(土)	ファラオの馬、ソロモンの馬	池田 裕 (中近東文化センター常務理事)
2	9月16日(土)	モンゴルの馬	川又正智 (国士館大学教授)
3	9月30日(土)	中央アジアの馬	川又正智 (国士館大学教授)
4	10月7日(土)	シリアの馬	足立拓朗 (中近東文化センター研究員)
5	10月21日(土)	ペルシアの馬	足立拓朗 (中近東文化センター研究員)
6	11月11日(土)	アラブ馬Ⅰ	末崎真澄 (「馬の博物館」学芸員)
7	11月18日(土)	アラブ馬Ⅱ	末崎真澄 (「馬の博物館」学芸員)
8	12月2日(土)	騎士と馬と美女	未定
9	12月9日(土)	トルコ・アナトリアにおける馬	吉田大輔 (中近東文化センター研究員)
10	1月13日(土)	アナトリアを駆け抜けたアレクサンドロス大王	大村幸弘 (中近東文化センター主任研究員)
11	1月27日(土)	東洋・日本の馬	未定

武蔵野地域自由大学事務局(交流センター内)

E-mail jiyu-musashino@nifty.com



〒180-0004 武蔵野市吉祥寺本町2-5-10
 TK吉祥寺ビル8階 吉祥寺駅北口徒歩7分
 Tel 0422-20-6340 Fax 0422-20-6341
 月曜～金曜 10時～17時

